



平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月10日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3180 URL <http://www.beautygarage.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897  
 経営管理グループ統括責任者  
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	4,549	21.2	118	△39.3	114	△46.6	66	△44.3
25年4月期第3四半期	3,753	—	195	—	213	—	119	—

(注) 包括利益 26年4月期第3四半期 66百万円(△44.5%) 25年4月期第3四半期 119百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	56.52	56.12
25年4月期第3四半期	113.37	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、平成25年4月期第3四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第3四半期	1,954	1,160	59.3
25年4月期	2,083	1,116	53.6

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 1,159百万円 25年4月期 1,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	—	—	20.00	20.00
26年4月期	—	—	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	未定	未定

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,335	19.8	216	△30.7	209	△37.3	138	△27.5	116.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 1社(社名)株式会社ムサン

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期3Q	1,182,000株	25年4月期	1,182,000株
26年4月期3Q	一株	25年4月期	一株
26年4月期3Q	1,182,000株	25年4月期3Q	1,058,000株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成24年10月2日付で1株につき200株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましては、依然として消費者マインドの冷え込みから厳しい経済環境が続いていることや、特に美容室における新規開業店舗数が増加傾向にあることから、店舗間の競争が厳しさを増し、経済的な商材仕入れルートの確保や効果的な集客方法の検討・実施に対する重要性が従来にも増して高まっております。

また、美容業界向け流通市場におきましても、美容専門商社やディーラー等の統廃合が進むなど、寡占化や淘汰が進んでおり競争が激化しております。

そのような状況下、当社グループでは、新規顧客の獲得や既存ユーザの利用率向上に向けた各種取組を積極的に実施いたしました。

平成25年5月に美容業界最大のイベントである「BEAUTY WORLD JAPAN 2013」(開催地：東京)、平成25年10月に「BEAUTY WORLD JAPAN WEST 2013」(開催地：大阪)、平成25年11月に「NAIL EXPO 2013」(開催地：東京)に出展し、新オリジナルブランド商品の販売強化とともに当社ならびに当社商品の知名度向上に努めました。

平成25年6月にはプロ向け美容商材ショールームとしては日本最大級の「東京本社総合ショールーム」を開設し、展示品数の大幅な拡充を図るとともに、商品をその場でお買い上げいただける「BGストア」や、開業と経営の情報ステーション「BGラウンジ」を併設いたしました。

また、最大の販路であるプロ向け美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」のさらなる利便性向上のための改善、オリジナルブランド商品を中心とした商品ラインナップ拡充の強化に努めました。

取扱商品点数は50万点を超え、平成25年1月末時点で登録会員数は195,082口座(前年同期比37,247口座増)、過去1年間に1回以上購入したアクティブユーザは62,309口座(前年同期比11,858口座増)に伸長しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,549,637千円(前年同期比21.2%増)と堅調に推移しました。

一方で、円安の影響や中古商品売上高の減少等により上期における売上総利益率は低下傾向にありました。当第3四半期連結会計期間におきましては価格改定や中古商品の販売強化等に努めた結果、売上総利益率を上期に比べ改善することが出来たことから、当第3四半期連結累計期間における売上総利益は1,525,904千円(前年同期比12.1%増)となりました。

また、東京本社総合ショールームのリニューアルオープンを始めとして積極的なプロモーション施策を実施したことから販売費及び一般管理費が前年同期比で増加した結果、営業利益118,841千円(前年同期比39.3%減)、経常利益114,187千円(前年同期比46.6%減)、四半期純利益66,806千円(前年同期比44.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市10ヶ所のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通してプロ向け美容商材をビューティサロンに提供しております。

中でも「BEAUTY GARAGE Online Shop」につきましては、当サイトを経由した売上高が全体の半分以上を占め、さらに重要度を増しております。また、商品別でみるとストック型収益商材である化粧品や

消耗品の売上高が伸長しており、当社の基本戦略である「フロー&ストック型収益構造への転換」は堅調に進捗しております。

平成25年12月にはサロンワークに役立つ書籍・DVD・CDを始めとして店内閲覧用の一般雑誌等を取り扱う美容業界専門「本・DVD・CD館」サイトを開設しました。

さらに、これまでネイル商材、まつ毛商材につきましては「ネイル・まつ毛館」として一つのサイトで提供しておりましたが、ネイルサロン・まつ毛サロンの登録会員の増加にあわせ、平成26年1月にはそれぞれ「ネイル商材館」「まつ毛商材館」の専門サイトとしてリニューアルオープンするなど「BEAUTY GARAGE Online Shop」のさらなる強化に努めました。

また、円安の影響を加味した価格改定の実施、中古商品の販売強化、オリジナルブランド商品の継続的投入に努めるなど売上総利益率の改善に努めました。

この結果、当事業の売上高は3,460,086千円(前年同期比21.0%増)、セグメント利益は237,126千円(前年同期比15.9%減)となりました。

## ②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しております。

当社グループの総合力を活かし、従来受注案件の多くを占めていた小型・個店案件に加えて大手サロン案件の獲得を目指し、競争力のある契約価格を提示することで、新規顧客の開拓に努めたことから当事業の売上高は903,546千円(前年同期比21.9%増)、セグメント利益は29,020千円(前年同期比6.4%増)となりました。

## ③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市10ヶ所のショールームを通して提供しております。

さらなる人材支援サービスの強化を目的として、平成25年5月に設立した美容業界初の完全成果報酬型求人サイト「salon career」の運営を行う連結子会社株式会社サロンキャリアにつきましては、未だ黒字化には至っておりませんが、成約件数が増加しており損失額は減少傾向にあります。

また、平成26年1月には初めて当社が著者となった書籍「失敗しない美容室開業BOOK」が日本実業出版社より出版されました。

さらに、これまでサロンの開業に関する情報発信サイトとして運営しておりました「salon開業チャンネル」を開業後の経営に関わる情報も併せて発信する「salon開業・経営チャンネル」としてリニューアルオープンいたしました。

この結果、当事業の売上高は186,004千円(前年同期比20.9%増)、セグメント損失は14,585千円(前年同四半期はセグメント損失3,053千円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%減少し、1,711,199千円となりました。これは、主に商品の増加111,669千円があったものの、現金及び預金の減少143,856千円及び受取手形及び売掛金の減少89,906千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて17.6%増加し、243,621千円となりました。これは、主に有形固定資産の増加33,453千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.4%減少し、649,328千円となりました。これは、主に買掛金の減少91,000千円、未払法人税等の減少87,178千円及び1年内償還予定の社債の減少10,000千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて50.3%増加し、144,792千円となりました。これは、主に長期借入金の増加30,924千円及び資産除去債務の増加14,225千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、1,160,700千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少23,640千円があったものの、当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加66,806千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月3日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社ムサシは、平成25年5月1日付で当社を存続会社とし当社の特定子会社であった株式会社ムサシを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲より除外しております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成25年5月1日付で、株式会社サロンキャリアを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	562,029	418,173
受取手形及び売掛金	392,458	302,552
商品	678,618	790,287
仕掛品	12,240	28,032
その他	240,750	179,643
貸倒引当金	△9,522	△7,488
流動資産合計	1,876,575	1,711,199
固定資産		
有形固定資産	39,722	73,175
無形固定資産		
のれん	2,648	1,059
ソフトウェア	34,071	32,226
その他	116	116
無形固定資産合計	36,836	33,401
投資その他の資産	130,536	137,043
固定資産合計	207,095	243,621
資産合計	2,083,670	1,954,820
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	339,321	248,320
1年内返済予定の長期借入金	61,720	68,956
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	87,178	—
賞与引当金	20,675	56,489
製品保証引当金	10,630	8,529
受注損失引当金	21	1,589
資産除去債務	4,969	—
その他	336,125	265,442
流動負債合計	870,642	649,328
固定負債		
長期借入金	50,560	81,484
ポイント引当金	23,839	26,601
資産除去債務	9,673	23,898
その他	12,256	12,809
固定負債合計	96,329	144,792
負債合計	966,971	794,120



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,320	262,320
資本剰余金	213,587	213,587
利益剰余金	640,792	683,959
株主資本合計	1,116,699	1,159,866
少数株主持分	—	833
純資産合計	1,116,699	1,160,700
負債純資産合計	2,083,670	1,954,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	3,753,774	4,549,637
売上原価	2,392,797	3,023,732
売上総利益	1,360,977	1,525,904
販売費及び一般管理費	1,165,122	1,407,063
営業利益	195,854	118,841
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	80
為替差益	16,523	—
債務免除益	—	916
破損商品等弁償金	818	1,677
その他	1,793	1,644
営業外収益合計	19,209	4,317
営業外費用		
支払利息	1,072	1,327
為替差損	—	6,734
その他	295	909
営業外費用合計	1,367	8,971
経常利益	213,695	114,187
特別利益		
固定資産売却益	82	95
持分変動利益	—	879
特別利益合計	82	974
特別損失		
固定資産除却損	763	—
本社移転費用	—	4,300
特別損失合計	763	4,300
税金等調整前四半期純利益	213,015	110,861
法人税、住民税及び事業税	99,788	50,233
法人税等調整額	△6,716	△5,892
法人税等合計	93,071	44,341
少数株主損益調整前四半期純利益	119,943	66,520
少数株主損失(△)	—	△286
四半期純利益	119,943	66,806

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,943	66,520
四半期包括利益	119,943	66,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,943	66,806
少数株主に係る四半期包括利益	—	△286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,858,976	740,988	153,809	3,753,774	—	3,753,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,945	29,708	10,490	58,145	△58,145	—
計	2,876,922	770,697	164,299	3,811,919	△58,145	3,753,774
セグメント利益又は損失(△)	282,052	27,277	△3,053	306,277	△110,422	195,854

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△110,422千円には、セグメント間取引消去7,642千円、未実現利益の調整額△357千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,708千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,460,086	903,546	186,004	4,549,637	—	4,549,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,327	45,296	1,657	69,281	△69,281	—
計	3,482,413	948,843	187,662	4,618,918	△69,281	4,549,637
セグメント利益又は損失(△)	237,126	29,020	△14,585	251,562	△132,720	118,841

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△132,720千円には、セグメント間取引消去10,146千円、未実現利益の調整額△727千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△142,140千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。